

〔平成20年1月18日（金）〕

“只今「**春期募金活動期間**」中”

美しい森林づくりニュース 〈NO. 59〉

～ 伝えたい木の文化、残したい美しい森 ～

発信元：林野庁 研究・保全課 森林環境保全班 企画調整係 山口
Tel：03-3502-8111（内線6216）03-3501-3845（直通）Fax：03-3502-2887

ご意見、ご質問は → https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82
バックナンバーは → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

◎ 国有林間伐推進コンクール表彰式・発表会を開催！

－ 間伐事業部門の受賞者(4団体)を表彰 －

1月17日（木）、平成19年度国有林間伐推進コンクールの表彰式と最優秀賞を受賞された株式会社八木木材の事例発表が行われました。

（コンクールの概要）

このコンクールには、国有林における間伐作業に関する技術開発・低コスト化等又は間伐材の販売促進等に大きく貢献した事例を対象とする「間伐事業部門」のほか「間伐材利用部門」と「間伐モデル林部門」の3部門があり、今回の表彰は「間伐事業部門」について行われました。

表彰式には、最優秀賞1団体、優秀賞3団体の代表が林野庁会議室に招待され、賞状が福田国有林野部長より授与されました。

また、表彰式終了後、株式会社八木木材から受賞事例について概要の発表が行われ、参加者からは、八木木材が採用している間伐システム等について活発な質問が出されました。

（最優秀賞）

最優秀賞の株式会社 八木木材（兵庫県宍粟市一宮町）は、作業システムの改善による間伐事業の有価化が評価されました。

受賞者は、間伐収入の山元還元を高め、山林所有者の意識改革と林業従事意欲の向上を通じ林業再生に取り組んでいます。このため、各作業工程を連動させた流れ作業に高性能林業機械を組み入れた作業システムにより10m3／人日以上生産性を実現しています。

今回受賞した事例は、37～54年生、スギ・ヒノキの初回間伐を プロセッサを中心とした各高性能林業機械の同時進行形態を採用し、労働安全と作業

平成19年度国有林間伐コンクール表彰式



最優秀賞受賞の株式会社八木木材社長へ記念品（ケヤキの時計）を贈呈



効率を考慮して作業路に鋭角な列状間伐の実施により高い生産性（12.41m³/人日）を実現しています。

作業の流れ

作業着手時は一定量の伐倒、集材路開設、集材作業を先行し、その後は、各作業工程をそれぞれ次の作業に繋がる位置に配置し作業が完了するまで同時進行する作業システムを採用。これにより、プロセッサ等高性能林業機械の稼働率を高めています。



集材路開設



集造材作業



フォワーダ積込

(優秀賞)

優秀賞には、今井林業株式会社(北海道川上郡弟子屈町)、株式会社ヨシナリ林業(茨城県久慈郡大子町)及び大分県造林素材生産事業協同組合(大分県大分市)の3団体が受賞されました。

今井林業株式会社は、高性能林業機械が単独で作業できる短幹集材を採用し、労働安全確保、低コスト生産及び伐出作業での林地保全に努めています。

今回受賞した事例は、高性能林業機械等を全て運転できる3名で効率的な作業を実施し、また、ベースマシンの油圧配管の改良によってアタッチメント交換を容易にし、各作業の作業効率を向上させ、高い生産性（17.4m³/人日）を実現しています。



間伐実施前

間伐実施後

株式会社ヨシナリ林業は、高性能林業機械を積極的に導入するとともに、技術者を育成・確保し、生産性向上、低コスト化と就労条件の改善を図り、若手に魅力のある職場づくりを実践している事業体です。

今回受賞した事例は、38～47年生、スギ・ヒノキの初回間伐箇所では林地傾斜39度の急傾斜地においてザウルスロボ(バケット+グラップル)により現地発生材を活用した作業路網を107m/haと高密度に整備するとともに、

● 低コスト作業路網の作設



ザウルスロボによる作業道の作設



急傾斜地に小型機械で支線を作設



支障木を集材しながら作業道を作設



根株等現地資材活用し路肩を作設

高性能林業機械を活用した作業仕組みにより、生産性向上とコスト削減を実現しています。

大分県造林素材生産事業協同組合は、「簡易で壊れにくい路網」を作設し、路網に対応した列状間伐を設定する作業システムにより間伐コストの大幅な削減と生産性の向上を実現しています。

今回受賞した事例は、36～47年生、スギ・ヒノキの2回目の間伐箇所、既設の作業路を活かして低コスト路網を整備し、ハーベスタ、フォワーダ等の使用によりコスト削減と生産性の向上を実現しています。

● 「簡易で壊れにくい路網」の作設



既設作業路を利用した低コスト路網の改良を行っています。



作業完了後は、路面流出防止のため枝条散布を行っています。

※ 「美しい森林づくりニュース」のメールマガジンの配信を始めています。

登録はこちらから → <http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/mail.html>